

各 位

免震マンション「桂パークハウス東街区参番館」の観測結果について
～免震装置の顕著な効果を確認～

三菱地所株式会社が、仙台初の免震マンションとして平成8年に販売した「桂パークハウス東街区参番館」(仙台市泉区桂一丁目所在、設計:三菱地所(株)[現(株)三菱地所設計]・東急建設(株)、施工:東急建設(株)・(株)地崎工業)では地震観測装置を設置しておりますが、本年5月26日18時24分発生 of 宮城県沖地震(M7.0)において、免震装置の顕著な効果を確認しましたので、お知らせ致します。

1. 免震装置の概要

鉛入り積層ゴム(LRB) 径750mm:11本 800mm:4本 900mm:4本 計19本

※ 免震装置とは、地盤から建物への地震入力を低減する部材。ゴムと鋼板を交互に重ねたものが一般的で、鉛直方向に堅く、水平方向に柔らかい特性を持つ。免震装置により、建物本体だけでなく、建物内部の家財等の被害も抑制される。全国で約1000棟、東北地区では44棟。(2001年末、日本建築センター評定終了の免震建物)

2. 観測点での震度

免震装置下に設置した観測装置では、震度4相当の揺れを観測。
(気象庁の発表では仙台市周辺は震度4～5弱)

3. 免震装置の効果

免震装置の上層と下部(基礎部)に設置した観測装置によると、最大加速度がX(長辺)方向で約62%、Y(短辺)方向で約53%低減したことが観測されました。

以 上